

**NO. 20 炭焼きクラフト（お花炭作り）**

1 ねらい

- ・ 自然の材料を使って作品を作ることを通して、創作する喜びを味わい、手づくりのよさを見直すと共に、自然環境に関心をもつことへのきっかけとする。
- ・ 仲間と共に作品を作ることにより、友情を育む。

2 活動の計画

- (1) 活動期間 4～11月
- (2) 所要時間 3時間程度
- (3) 対象 小学生以上
- (4) 活動場所 野外炊事棟近辺



焼き上がった炭

(5) 準備物

〔自然ふれあい館〕	〔利用団体〕
薪・のこぎり グルーガン グルーガン用接着剤（ホットボンドスティック） *薪・ホットボンドスティックは有料	空き缶（ふた付き）・煙突棒（金属） 新聞紙・持ち帰り用袋

3 活動上の留意点

- ・ 1グループ8～10人程度が適当です。

4 展開例

区分（時間）	活動内容・方法
活動前 〔説明〕 (10分)	1 説明を聞きます。（野外食事棟） ＜活動の流れ＞ ①炭材集め→②缶詰め→③炭焼き→④（ ）→⑤クラフト ※④(焼き上がるまでの待ち時間に行なう活動)については利用団体で検討します。 (焼き板, オリエンテーリング等)
活動① (120分)	1 炭材集めに行きます。 2 炭材を空き缶に詰めます。 （野外食事場）※詰め方は次頁参照 ・ 集めてきた炭材を缶に詰めます。 （すき間のないように） ・ 缶に詰め終わったら、指定のかまどに運びます。 3 炭焼きを始めます。（野外炊事場かまど）※焼き方は次頁参照 ・ 火の強さは中火程度。缶をすっぽり包むような炎では灰になってしまうので注意します。 ・ 煙突からの煙が透明に近くなったら火からおろし、冷めるのを待ちます。（1時間半程度） 4 後かたづけ
活動② (60分)	5 炭でクラフトに取り組みます。 ・ ミニ焼き板等に焼き上がった炭をつけ、飾り物等を作ります。 ※作り方は次頁参照



炭(栗のイガ)と焼き板によるクラフト

# お花炭をつくろう！

①材料は、木の実、花、葉、果物、枝など何でもよい。  
炭焼き窯にはふたのある空き缶を使い、30cm程の煙突（金属管）も用意する。



「お花炭ってなに？」  
お花炭は五百年もの昔から茶の湯の世界などで使用され、飾り物としても愛でられ、優雅で高貴な物として扱われていました。  
それぞれの地方によって独自の焼き方や秘伝の技術があったそうです。活性効果もあるお花炭は季節にあわせた素材を選びます。  
燻さない限りどの香をもとめておくことができるのでインテリアとしても人気があります。



②材料に木材や枝を使うときには、缶に入るようにカットする。



③直径1cmほどの穴をあけておく。

④缶に材料を入れる時には、重い材料から順に詰め、すき間はどんぐりなどでうめるとよい。



⑦薪で熱して約1時間半でできあがり！  
缶がさめてからあけよう。



⑤すき間があくと材料が酸素と結びつき、炭ではなく灰になってしまうので注意！



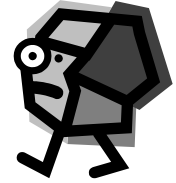
⑥煙突をつけると、煙の吸い上げ効果がある。

⑧

焼き板や、木の枝などにホットボンドでくっつけて、炭焼きクラフトの完成！



## 炭の豆知識



### < 炭ってなあに？ >

炭を一言で言えば、木材を蒸し焼きにして作った燃料のことです。木材の主成分であるセルロースとリグニン(いずれも炭素を含む物質)が熱分解し炭化してできます。

### < 炭の起源は？ >

愛媛県の鹿野川で30万年前のヒトの化石と一緒に炭が見つかり、北京原人の炭と共に世界最古の炭とされています。彼らの炭利用は、高温の火山灰で蒸し焼きにされた木が燃料になることを偶然発見したことから始まったと思われます。

### < 炭の種類は？ >

炭は「白炭」と「黒炭」とに分けられます。

白炭は高温で均一に炭化するため硬く、叩くと金属音がします。有名な「備長炭」<sup>びん</sup>は、白炭の代表的なものです。炎を全く出さずに燃えます。

黒炭は文字通り真っ黒な炭で、割れ目が多く、炭化した樹皮がついていることもあるのが特徴です。質が悪いと燃やすときに炎が出ます。茶道用の炭は黒炭です。

### < 炭の使い道は？ >

燃料、土壌改良、湿度調整、消臭、鮮度保持、水質浄化、空気清浄、保温、風呂や米びつに入れるなど、多様な用途があります。実際に水源地に炭をまくことで、土壌改良や水質保全に努めている地域もあります。